

3月の金融政策、政治・経済イベント

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

2月の金融市場では、初旬に中国当局が新型コロナウイルス感染拡大の影響緩和に向けた大規模な支援策を講じたほか、米中の「第1段階」の合意に基づき、対米追加関税第4弾の税率引き下げが発表されたことなどから、世界の株式は上昇しました。その後も米国の底堅い景気や、中国の追加支援策への期待などから、株式市場は堅調さを保ちました。しかし、下旬には新型ウイルスが世界に拡散し、実体経済に影響を及ぼすリスクが懸念され、米欧を中心に世界で株価が急落した一方、債券が買われ、米長期金利が過去最低水準を更新しました。

3月は引き続き、新型ウイルスの動向が市場に大きく影響を及ぼすとみられます。アジアのみならず、感染が拡大する欧州や中東でも経済への打撃が懸念されており、各国で財政出動への期待が高まっています。米国では3月17～18日のFOMC(連邦公開市場委員会)でFRB(連邦準備制度理事会)が再び利下げに踏み切るとの見方が広がっており、同時に発表される米国経済や政策金利の見通しと合わせて注目が集まっています。

震源地である中国では、政府が財政・金融両政策を総動員する中、3月中旬から順次発表される経済指標や企業の決算発表が注目されるほか、全人代(全国人民代表大会、国会に相当)が延期されたことで、経済成長率の目標などが、いつ、どのような内容で発表されるかに市場の関心が集まっています。

また、米国の大統領選挙(11月)に向け、各党候補者の選出が3月3日に山場を迎えます。スーパーチューズデーと呼ばれるこの日には、予備選挙や党員集会が集中して行なわれます。与党・共和党では、トランプ大統領が候補者となることが確実視される一方、野党・民主党では、サンダース上院議員が優勢を保ちながらも混戦模様となっており、同日の結果に大きな注目が集まります。なお、大企業や富裕層への増税を主張するサンダース氏ら左派候補が善戦する場合には、市場で嫌気される可能性があります。

1月末にEU(欧州連合)を離脱した英国では、移行期間が終了する年末までに、EUとの間でFTA(自由貿易協定)などの将来関係を巡る枠組みを合意し、経済社会の混乱を避けられるかが焦点となっています。こうした中、3月2～5日にかけて、英・EU間の初会合が開かれます。

3月の注目される金融政策および政治・経済イベント

3月	予定
2日(月)	■ 米国、2月のISM製造業景況指数、■ 英・EU間の初会合(～5日)
3日(火)	■ 米国、スーパーチューズデー、● オーストラリア、金融政策決定会合
4日(水)	● 米国、地区連銀経済報告(ページブック)
5日(木)	■ OPEC(石油輸出国機構)総会、OPECプラス閣僚会議(～6日、ウィーン)
6日(金)	■ 米国、2月の雇用統計
7日(土)	■ 中国、1-2月の貿易統計
12日(木)	● ユーロ圏、ECB(欧州中央銀行)理事会
16日(月)	■ 中国、2月の小売統計
17日(火)	● 米国、FOMC(～18日)
18日(水)	● 日本、日銀金融政策決定会合(～19日)
25日(水)	● 英国、金融政策委員会(～26日)
31日(火)	■ 中国、3月の製造業PMI

● 金融政策関連

■ 政治・経済関連

(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。スケジュールは予告なしに変更される可能性があります。)
※上記は過去のものおよび予定であり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。